

研究実施状況報告書

平成31年2月26日

長崎県立大学長 様

研究責任者 所属 地域看護学  
職名 教授  
氏名 中尾八重子



受付番号 361	承認番号 348
I 課題 地域包括ケア時代における民生委員の役割	
II 研究期間及び調査期間 研究期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日 調査期間 平成30年8月1日～平成30年8月30日	
III 研究の実施状況（該当項目にチェックしてください） <input checked="" type="checkbox"/> 研究計画書どおり研究が終了した（公表方法：公開発表（学内）、 <del>論文提出</del> ） <input type="checkbox"/> 研究計画書どおり研究を実施した <input type="checkbox"/> 研究計画を変更して研究を実施した 変更審査申請書提出（済・未） 変更内容： 変更理由：	
IV 今後の研究の概要（研究が継続の場合）	
V 研究結果の概要（研究が終了の場合）  別紙1参照	
VI その他報告すべき事項	

※V研究結果の概要については別紙での提出も可

## V 研究結果の概要（研究が終了の場合）

民生委員5名に対し、半構成質問紙を用いて、民生委員としての活動内容や認識、関係機関との連携などについて個別面接聞き取り調査を実施した。民生委員の高齢者支援活動について18の категорияが、民生委員の高齢者支援の受け止めについて15の categoriaが抽出された。

民生委員の努力により、高齢者と関係機関をつなぎ適切な支援がなされ、公助・共助が促進されていた。一方で、その必要性を理解しつつも守秘義務などにより住民へのつなぎはなされておらず、自助・互助の促進は難しい状況にあった。地域包括ケア時代においては、民生委員が①一人暮らし高齢者・高齢者夫婦のみ世帯の確実な把握②高齢者への各種サービスの情報提供③地域住民と高齢者の橋渡しを行うことが求められる。